

公民館講座とボランティア活動

岡垣町教育委員会生涯学習課公民館係【公立公民館】

公民館係長 福田 渉
社会教育指導員 高山 彰二

1 町の概要

岡垣町は、県北部に位置し、鹿児島本線の博多駅と小倉駅の中ほどにある海老津駅で下車する、人口約 3 万 2 千人の町である。玄海国定公園内の三里松原を有する自然豊かな町で、高齢化率は 30.4%、5つの小学校と2つの中学校がある。

2 事業名

公民館講座「若潮学級」、「成人講座ゆうま」

3 事業の実施主体

岡垣町教育委員会（岡垣町中央公民館）



4 事業の目的

公民館講座の受講生が、学校や地域の中で講座での学びの成果を活かしたボランティア活動を行うことによって町づくりに参画し、さらには自己の生きがい作りや地域との交流を深めることを目的とする。

5 実施に至る経緯

岡垣町中央公民館では、「若潮学級（昭和 51 年開設）」と「成人講座ゆうま（平成 9 年開設）」という2つの定期講座を開設しており、これらは共に「自己の生きがい作り」を主の目的として始まった。平成 14 年度から学校週 5 日制が始まり、生涯学習の言葉も定着してきた中、平成 18 年度に岡垣町では公民館の役割に「学習機会の提供」のみならず「ボランティア活動などの住民による地域づくり活動を展開する取り組み」が加えられた。

そこで、翌年度からは講座受講生による「学校支援ボランティア」が始まり、その後、夏休み・冬休みの子ども健全育成講座におけるボランティア支援活動に拡大した。

6 事業の内容

(1) 「若潮学級」・「成人講座ゆうま」の講座内容と運営

◎若潮学級・・・募集人数 150 名、講座実施回数年間 19 回（5 月～2 月）。

◎成人講座ゆうま・・・受講者数 150 名、講座実施回数年間 20 回（5 月～2 月）。

若潮学級は、午前中に受講生全員が教養講座で学び、午後からは5つの専門コース（かな書道初級・民謡・歌唱・初級陶芸・絵と字）に分かれて学習する。

成人講座ゆうまは、教養講座はなく5つの専門コース（かな書道中級・書道・健康体操・リフォーム洋裁・男性料理）のみの学習となるが、若潮学級で初めに2回行われる「ボランティア」に関する教養講座の受講が義務付けられている。



講座は、自主運営となっており、班長・副班長をはじめ、会計係・記録係などを互選し、会場準備から司会進行、後片付け等々も受講生が行う。班長は、毎回班長会にて公民館担当者と打合せを行い、学校支援等のボランティア参加者を募ったり、連絡・調整なども行っている。

(2) 学校支援ボランティア

小・中学校からの要請により学校に出向き授業の支援を行うもので、「書写」・「陶芸」など先生（授業者）の補助を行う。

公民館担当者は学校との事前打合せの際に、授業の主導はあくまで先生であり、受講生は実技の段階で児童生徒の個別指導に当たる役割であることを確認している。



(3) 子ども健全育成講座でのボランティア

岡垣町中央公民館では、毎年夏休み・冬休みに小学生のみを対象とする子ども健全育成講座「チャレンジスクール」を開設している。1年生から6年生の子どもたちが「絵手紙」「書道」「絞り染め」「手芸」「料理」に挑戦しているが、ボランティアスタッフ（受講生）がしっかりサポートするので、どの講座も2時間内に立派な作品を作り上げている。



「大人と子どものふれあい教室」は、親や祖父母と参加できる講座であるが、陶芸はいっしょに形を作った後、間をあけて別の日に素焼き→色付→本焼きがあるので、窯への出し入れ等、ベテランスタッフが欠かせない状況である。

学校支援も合わせて書道コース、陶芸コースの受講生は出番が多い。男性料理コースの受講生は子どもたちへ優しく丁寧に指導している。岡垣かるた大会（小学生対象）は健康体操コースの受講生がボランティアスタッフとなっている。

7 事業予算 1,915 千円（講師謝金）

8 プログラム作成の視点

- 開講式直後2回の教養講座で、ボランティアの意義や実践例を学び、ボランティア活動への動機づけを行う。
- 秋の町民文化祭での展示やステージ発表を目標にして、学習に取り組む。自他で学習の成果を確認し、外へ発信する（ボランティア等を行う）自信につなげる。
- ボランティア活動の事前打合せを綿密に行い、受講生が手伝う内容、範囲等の役割を明確にしておく。
- 受講生は冊子「学びの記録 岡垣」を携帯し随時ボランティア活動等を記録する。閉講式の日には教育委員会の修了印を押印することで、参加の励みと達成感を持たせる。
- 若潮学級の教養講座は各テーマ及び時勢に沿った内容及び講師の選定を行い、受講生の増加を図るため、魅力のある講座を開設する。
- 活動する受講生間の交友を深め、最後まで楽しく元気に講座に通えるよう、社会見学や発表会などのお楽しみ行事を企画する。

平成26年度 教養コース学習計画一覧 <原則第2・4水曜日>
○印の日は専門コースのある日
 会場 岡垣中央公民館 大会議室 時間 10:00~12:00

回	月日	学習課題	講義題	講師
1	5月14日		開 級	式
2	5月28日	ボランティア I	認知症サポーターと地域づくり -あしたのわたしのために-	認知症サポーターを応援の会 事務局長 野口邦生
3	6月11日	ボランティア II	私たちのボランティア活動 -こんなことを楽しんで - っています-	岡垣くすの木の家
4	6月25日	健康	知って得ずるお口の話 -あなたの舌はどこにある?-	歯科衛生士 カ久 生子
5	7月9日	表現	表現するって 楽しい笑顔になろう -自己表現の場をユニバーサル - 専用技法に慣れたいために-	九州大谷短期大学非常勤講師 吉柳 佳代子
6	7月20日	社会	高齢者を自ら専門職の手口と 対応方法-	(公社)全国消費生活相談員協会 九州支部 池山 喜美子
7	8月27日	人権	「なかよし」の「ツボ」教えます -対立や恨みをなくし、仲良しな地域 - づくりを教えます-	教育文化研究所代表 長阿彌 幹生
8	9月10日	環境	うみかみ講座 ☆まよこタイム(軽い体操)	岡垣町立橋住民環境課 環境政策課 津田 秀徳
9	9月24日	生活	誰もが安心できる環境づくり -高齢者は社会関係?-	おとろりさんネットワーク「スル」 代表 田代 久美枝
10	10月8日	町政	これからの岡垣町を築き まよこタイム(軽体操)	岡垣町町長 宮内 眞生
11	10月22日	環境	台轉水稲同時作 -農業と人生を面白くする-	有田農業 吉野 隆雄
12	11/1~3	町 民 文 化 祭 (学 習 発 表 会)		
13	11月12日	社 会 見 学		
14	11月28日	男女共同 参画	金子テルとみすゞを語る -みすゞの人生に輝いた女性たち-	「若潮生」創団員 板根 智子
15	12月8日	人 権 講 演 会 参 加		
16	12月10日	健康	元気で長生きしよう!! -脳卒中の予防・治療・リハビリテーション - まよこタイム(軽体操)	遠賀中間医師会・おかがき病院 院長 竹之山 利夫
17	1月14日	生活	旅を楽しむ -おもてなしの心-	JR九州観光ガイド 村上 浩子
18	1月28日	人生	旅順に、おしゅれに、知的に	元KBCアナウンサー 佐久間 みなこ
19	2月25日		開 級	式

9 成 果

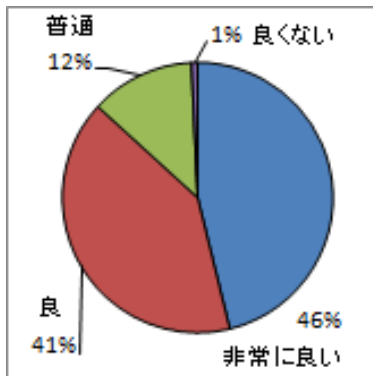
平成 26 年度若潮学級の教養講座のアンケートでは、非常に良い 46%、良い 41%と評価は非常に高く、受講生が意欲的に傾聴している状況が伺える。

専門コースは、成人講座ゆうま共々、受講生各々が選択した学習コースであり、専門講師の指導のもと真剣かつ楽しく受講し、充実感がみなぎっている。

学校支援ボランティアは、各学校が希望する日程で都合のつく受講生が参加する。

書道においては、小中学校の定期的なカリキュラムに貢献し、書初め大会等の特設授業にも携わり、学校現場からは大変助かるとの声をもらっている。事後の児童生徒アンケートでは、「教えてもらって嬉しい」「習字がうまくなった」などの感想が多く寄せられ、受講生からは「子ども達から元気をもらった」「行ってよかった」との感想が多い。

若潮学級
アンケート結果



子ども健全育成講座においては、毎年募集人員を大幅に超える子どもたちの申込みがあり、可能な限り多くの人数を受け入れている。もちろん一人の講師で対応出来るはずはなく、このように多くの希望者を受け入れることができるのは、ボランティアの活躍による成果である。

町内(地域)の大人が子どもたちの成長を見守ることにとなり、技術の向上のみならず、目には見えない心の交流の面でも成果を上げていることがわかる。

公民館講座以外にも各地域における「ふれあいサロン」や「防犯パトロール」など様々なボランティア活動が行われている。本講座でのボランティア経験がきっかけとなり、周囲からの呼びかけに積極的に応じて活動の範囲を徐々に広げている受講生も見られる。

10 今後の課題

ボランティア意識をさらに高揚させ、学校支援等以外のボランティア活動の機会を開拓する。若潮学級・成人講座ゆうまの各コースの班長の働きは、まさに講座運営のボランティアであるため、受講生間でその理解と協力体制を強化していく。

11 問い合わせ先

〒811-4242 福岡県遠賀郡岡垣町吉木西 1-1-1 岡垣町中央公民館(生涯学習課公民館係)
 TEL : 093-282-0162 FAX : 093-282-3330 Eメール : komin@town.okagaki.lg.jp